

下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
6	木	★	★	◆	◆	◆	◆
7	金	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
10	月	★	★	★	◆	◆	◆
11	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
12	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
13	木	★	★	15:05	◆	◆	◆
14	金	13:40	★	★	★	★	◆
17	月	★	★	★	★	★	★
18	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
19	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
20	木	★	★	◆	◆	◆	◆
21	金	★	★	★	★	★	◆
24	月	★	★	★	◆	◆	◆
25	火	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
26	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
27	木	★	14:30	◆	◆	◆	◆
28	金	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
31	月	★	★	★	◆	◆	◆

連絡用のメールアドレスです。ky-ekodaes@city.yokohama.jp

欠席の連絡ですが、きょうだいは、連絡帳でも構いません。また、連絡用のアドレスをご連絡いただいても結構です。

授業参観・懇談会に関するアンケート

QRコードを利用して、アンケートをお願いします。5月10日（月）までにご回答ください。



通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

	5校時		6校時	
給食当番	14:05		14:50	
掃除当番	14:30	★	15:05	◆

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

予定表並びに下校予定時間について

感染症に関して、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等が発令されることがあった場合、予定していた行事を延期せざるを得なかったり、下校時刻を変更しなければならないことが考えられます。

予定の変更、下校時刻の変更については、ミマモルメを通して行っています。ご承知おきください。

職員の勤務時間が変わります

子どもたちの登校時刻を変更した関係で職員の勤務時間が8時から16時30分になります。それに伴って、16時30分以降は、電話が留守番電話になりますので、ご連絡は16時30分までをお願いします。



学校だより 5月

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/



荇子田小学校

令和3年4月30日

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 歯科検診 1~3年 カウンセラー来校 午後	7 1年生仲間入りの会（予備日） 委員会	8	9
10 朝会 聴力検査 5年 交通安全教室1・3年 教育実習開始	11 聴力検査 1・3年 クラブ	12 発育測定 1・2年	13 歯科検診 4~6年 3年遠足 八景島 カウンセラー来校 午前	14 1年遠足 虹ヶ丘公園 聴力検査 2年	15	16
17 読書	18 リーダー会議 クラブ	19 体力づくり キッズ会議	20 耳鼻科検診 1年・4年・希望者	21 遠足予備日 1年	22	23
24 児童朝会 水着販売 13:00昇降口前	25 聴力再検査 委員会 鎌倉宿泊体験学習 保護者説明会 カウンセラー来校 午後	26 尿検査容器配付 フレンドチーム よろしくねの会	27 全国学力・学習状況調査 6年 SSW来校日 2年遠足 ズーラシア	28 尿検査回収 学校説明会 PTA総会	29	30
31 集会						

6月の主な予定

- | | |
|--------------------|------------------|
| 2日（水） 開港記念日 休日 | 16日（水） 体力テスト1日目 |
| 9日（水） 鎌倉宿泊体験学習 6年 | 17日（木） 体力テスト2日目 |
| 10日（木） 鎌倉宿泊体験学習 6年 | 25日（金） 三浦体験学習 4年 |
| | 29日（火） 学校保健委員会 |

入学式

4月7日に、入学式が行われました。今年度は、63名の1年生が入学しました。新しい環境に早くなじみ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。保育園や幼稚園でお姉さん、お兄さんとして、様々な力を発揮してきた新入生です。今まで培った力を発揮して、頑張してほしいと思います。

入学式からひと月近くが過ぎました。教室で、良い姿勢で学習をする姿は、とても素敵です。



1年生もしっかり学習しています。

午前中を充実させます

新年度になり、登校時間から変えました。これは、午前中の時間を充実させることが、子どもたちの生活リズムをよくするのではないかと考えたからです。昨年度、変形でしたが、「午前5時間」を取り入れました。午後、先生たちが事務処理をする時間を生み出すために取られている時間の使い方としての導入でした。しかし、時間を作り出すだけならば、従来の時間割を多少変更するだけでも可能です。ところが、「午前5時間」を導入してみたことで、意外な効果があることが分かってきました。一つは、子どもたちの活動によりよい時間割であることです。午後2時間というよりも、午後は1時間で終わりというのが子どもたちにとって過ごしやすいということが分かってきました。これは、先生たちにとっても、「午前中の集中力」という点で効果を感じるものにだということが分かってきました。午後よりも、午前を重視した方がよいというのが、昨年度試行してみた結論でした。

子どもたちの学びがより良いものになるよう取り組んでいきます。

プレハブ校舎を解体します

長年教室として活用してきたプレハブ校舎ですが、この度、解体・撤去することになりました。プレハブ校舎の跡地は、半分を校庭として活用します。また、残った半分を各学年用の植物栽培園として活用していきます。

なお、今回の工事に合わせて現在校舎内にあります「地域防災倉庫」を校庭の一部に設置することになりました。

2年生が頑張りました

2年生が、1年生を連れて、学校案内をしました。2年生にとっては、学校でお姉さん、お兄さんになったことを自覚できる良い機会になったと思います。また、1年生にとっては、学校の中をいろいろ知ることができるよい機会になりました。職員室や校長室にも、2年生が1年生を連れて訪ねてくれました。



2年生が学校内を案内しました。

4月のある風景から

～6年生が学校をつくる～

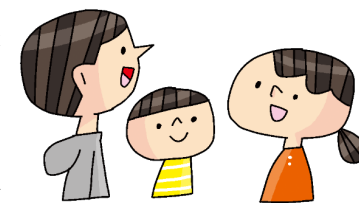
入学式の次の日、教室の場所が分からず1年生が立ち止まっていました。通りかかった6年生に「教室の場所を教えてあげて」とお願いすると、「こっちだよ」と1年生に声をかけ、歩幅を合わせて一緒に教室まで歩いてくれました。

ある朝のことです。その日は、新年度になって初めての雨でした。

—新しいクラスの傘立ての場所、わかるかな
—1年生はレインコートをしまうのに手こずるかもしれないな

などと、雨の日ならではの心配をしていたところ、6年生が登校してきました。この日も6年生は、傘立ての場所を探している子に「ここだよ」と声をかけたり、レインコートを着たまま付んでいる子のそばに行き、脱ぐのを手伝ったりしてくれました。

1回目の委員会活動。
ある委員会では委員長に4人が立候補。副委員長に3人が立候補。全員が立候補しました。それを見た5年生も進んで手が挙がりません。教室が、「やってみよう！」「がんばりたい！」という前向きな気持ちでいっぱいになりました。



そんな6年生の「やさしさ」や「前向きに取り組む姿勢」が、今年の荏子田小をつくっていくのだと思うと、楽しみな気持ちでいっぱいになりました。

(児童支援専任 塚本 裕美)

学校だから

昨年度から、リモートでの授業ということが話題になっています。これから先、実際にリモートで授業をする必要が出てくるかもしれません。海外では、ロックダウンの期間1年近くリモートで授業をしていたという報道もされていました。国内を見ても、大学はリモートでの講義が中心になっているようです。幸い小学校は、学校再開後、感染予防をしつつ、通常通りの授業を行っています。ただ、リモートという選択肢が今後は増えていくのだと思います。

20世紀も中盤に生まれた人間としては、リモートでの学習というのはまさに子どもの頃のSFです。ディスプレイに話しかけ、個別型の学習をする姿が、実現したのだと思うと、世の中の進歩の速さを感じます。SFの世界では、リモートで学習する姿が「進化」した学校だったのだと思います。未来の世界では、学校には通わず自分の部屋で個別に学習を進める姿を思い描いていたのだと思います。

しかし、それが少しずつ現実のものになると必ずしも「進化した教育の姿」ではないという気がします。学校は、学習する場です。学習を通して、知識を獲得したり、技能を獲得したりします。そして、それらをいかし、思考を深めていきます。思考したことを表現する力も求められます。そういう意味では、リモートでの学習でも、十分に教育としての役割を果たすことができると思います。ただ、実際にリモート的なことを始めていくと、いろいろな面で不十分だなと感じることが出てきます。一つは、環境です。学校には、子どもたちの気を引くコンテンツはほとんどありません。しかし、家庭にいと、子どもたちを様々なコンテンツが誘惑してきます。子どもたちにとって、学校はある意味「禁欲的な」聖域なのかもしれません。もちろん、学校という空間の中で、子どもたちどうしが、人間関係を築いていくことも、大切なことです。

リモートの良さを実感しながら、今一度学校自体の価値について考えることも大切なかなと思います。

(青木 勇)

【学校におけるセクシュアル・ハラスメント相談窓口】

校内担当者

<児童支援専任> 塚本 裕美

<副校長> 栗原 憲一 <養護教諭> 松本 聖子

※教育総合センターの一般教育相談も、セクシュアル・ハラスメント相談窓口として 利用できます。

電話番号：671-3726 月～金 9：00～17：00（祝日・振替休日を除く）